

令和4年度 千代田万世会館 経営財務モニタリング

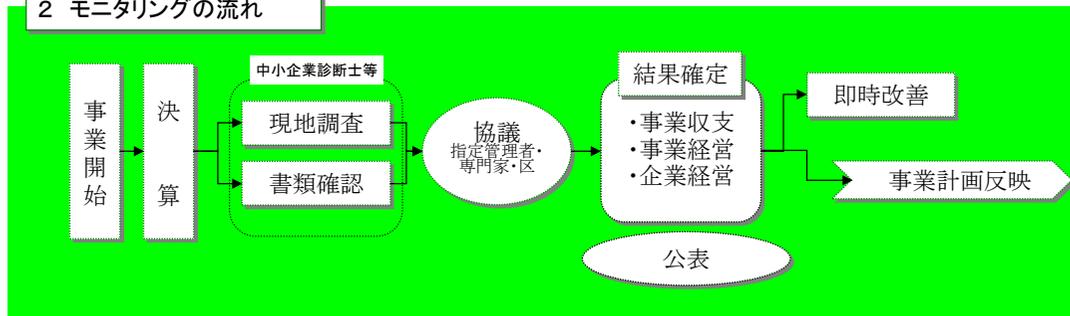
1 経営・財務モニタリングの概要

○対象：千代田万世会館

○方法：第三者評価機関による施設の運営・管理状況の確認及び財務状況の確認
(書類確認、現場確認、ヒアリング等による)

○視点：財務状況、経営状況、課題及び改善点

2 モニタリングの流れ



3 経営・財務分析

(1) 利用状況(令和3年度)

用途	件数/金額	応募時計画	令和3年度実績	達成率
葬儀	件数(件)	78件	72件	92.30%
	金額(円)	7,511,400円	4,948,600円	65.90%
会議・法要	件数(件)	20件	2件	10.00%
	金額(円)	220,000円	24,000円	10.90%
遗体保管用冷蔵庫	件数(件)	51件	56件	109.80%
	金額(円)	1,147,500円	1,222,500円	106.50%

[コメント]

- ・コロナ禍を経て短期間化・少人数化のニーズが高まり、単価の低い1日葬・家族葬が増えたことにより、葬儀金額が大きく落ち込んでいる。
- ・リモート会議の普及等により、6階会議室の利用件数が計画から大きく落ち込んでいる。

(2) 財務状況(令和3年度)

項目	令和2年度	令和3年度	前年度対比	
収入	利用料金	5,213,900	6,195,100	118.8%
	その他(自販機)	34,434	38,485	111.8%
	指定管理料	17,918,000	22,385,000	124.9%
	修繕費返還金	-9,724	0	-
	小計	23,156,610	28,618,585	123.6%
支出	人件費	8,668,939	10,013,946	115.5%
	光熱水費	1,423,461	1,787,001	125.5%
	委託費	13,095,452	12,562,587	95.9%
	修繕費	1,490,276	1,500,000	100.7%
	備品費	42,840	0	-
	消耗品費	880,803	158,333	18.0%
	役務費	1,410,093	1,023,683	72.6%
その他		303,280		
小計	27,011,864	27,348,830	101.2%	
収支合計	-3,855,254	1,269,755	-	
補填金額※1	6,156,991	2,620,416	42.6%	
補填後の収支	2,301,737	3,890,171	169.0%	

※1: 区からの利用減少に伴う管理費及び感染症対策経費の補填

[コメント]

- ・コロナ禍の厳しい状況中でありながら、令和3年度は黒字を確保している。
- ・法人の財務状況は、本業がコロナ禍の影響を受けやすい業種でもあり、経営指標は全般的に業界平均を下回っているが、改善傾向にあり令和4年9月期には黒字に回復している。

4 提言・アドバイス(事業の改善策)

(1) 基本

- ・類似業務の経験豊富な施設長、施設マネージャーによる責任体制のもと、少人数の体制ながら行き届いた管理運営が行われている。また区民のための施設であることを強く意識し、地域に開かれた施設として運営されている。

[特に良かった点]

- ・自主事業であるフラワーアレンジメント教室等を通じ、葬儀利用のみならず、区民の憩いの場づくりや独自コミュニティの形成等に貢献していることは高く評価できる。

[改善が求められる点]

- ・ペーパーカーの無料貸し出しやバリアフリーマップ等応募時の事業計画書で提案した内容で一部実施できていない取組がある。
- ・外部研修等で新たな知識を得る機会を積極的につくり、施設運営に活用されることが望まれる。

(2) 施設・設備の維持管理

- ・建物・設備の日常点検・定期点検は計画通りに行われ、利用者の安全が確保されている。また日常清掃・定期清掃も同様に計画通りに行われ、利用者が快適に利用できる環境が確保されている。

[改善が求められる点]

- ・鍵の保管及び個人情報と同じキャビネットに入っており、夜間の再委託先職員のみとなる時間帯も開いた状態となっている。個人情報等は別の保管場所とし、業務に必要な鍵のみを施設職員から再委託先職員へ受け渡しすることが望まれる。

(3) 運営業務

- ・コロナ禍の影響を大きく受ける中、可能な範囲で自主事業等を実施し、認知度向上・地域への貢献が図られている。また業務日誌等を有効活用し、シフト制の中でも情報共有ができる仕組みが構築されている。安全面については、2回/日の巡回点検、他施設事例の活用等で、事故防止に配慮した運営が行われている。

[改善が求められる点]

- ・コロナ禍の影響により、葬儀利用金額、会議・法要利用件数が大きく落ち込んでいる。やむを得ない部分もあるが、区民への認知度向上、変容する社会ニーズに対応した新たな利用方法の検討等が望まれる。

(4) サービスの質の向上

- ・直接遺族や参列者の意見を収集しにくい施設特性であることを考慮し、主に直接的な窓口となる東葬協千代田支部の葬儀社4社との支部会等で関係性を構築し、利用者ニーズへの対応やきめ細かい調整等が行われている。

[特に良かった点]

- ・ホームページで料金体系や利用方法はもとより、360°パノラマビューなどを掲載する等、よりわかりやすく施設を理解してもらえるよう工夫していることは、高く評価できる。

[改善が求められる点]

- ・葬儀用の接遇マニュアルや障がい者対応マニュアルが整備されているが、入社時研修以外で確認する機会がないため、定期的に職員へ周知・確認する機会を設けることが望まれる。